



「つながる」を力に

韓 真希

ワールドキャンプを開催

2014年から2017年にかけて国立赤城青少年交流の家でワールドキャンプを開催しました。



ワールドキャンプのお知らせ

国や民族、文化や習慣・言語や価値観・宗教など、異なる生活圏に住む子どもたちが互いを知り交流する場を、と多くの協力を得て実現したキャンプでした。

日本の中学生、大泉町のブラジル人学校に通う中学生、韓国釜山の「アジア共同体学校」で学ぶ多国籍の子どもたち、そしてインドネシア Daarul Jannah Islamic School の中学生が、それぞれにプログラムを組んで集まりました。

インドネシアからの参加が実現したのは思いがけない出会いからでした。ある日、「私の母が先生と生徒を連れてキャンプに参加したいと言っています」と、留学中の Vera 先生の息子さんが声をかけてくれたのです。当時はムスリムの文化についてあまり知らなかったのですが、ちょっとためらいがちに、でも期待を込めて「OK」と答えたのでした。

交流を通して自身の思いこみに向き合う機会にも

各学校の紹介や料理メニュー・歌にダンス・ゲームなど、わくわく感あふれる交流でした。

スタッフたちにとっても初めての経験で、想像以上に大変だったのですが、スタッフ自身の思いこみに向き合ういい機会になりました。



ワールドキャンプで皆さんと

何かと行き届かない進行でしたが、終始笑顔で見守ってくれたのがインドネシアの Vera 先生でした。「みんなとてもいい経験になりました。私たちは来年も参加したいです」この優しい言葉が心にしみて、とてもうれしかったことを今も覚えています。

広がる交流の輪

今では韓国のアジア共同体学校、インドネシアの Daarul Jannah Islamic School、そしてぐんま里山学校の先生や子どもたちが互いに行き来しながら交流を続けています。

この機会に Vera 先生のご紹介をしたいと思います Vera 先生が理事長をなさっている Daarul Jannah Islamic School は広大な敷

地内に幼稚園・小学校・中学校の校舎があり、体育館や運動場・医療施設やSNS配信用の専用スタジオ・売店・近隣の人たちも訪れるモスクなどの施設があり、緑豊かな木々に鳥がさえずり、猫たちが気持ちよさそうにお昼寝、池には魚が泳ぎ心地よい風が吹き抜けます。



Daarul Jannah Islamic School にて

Vera 先生は東京外国語大学に留学経験があり、日本語・英語が堪能。日本の歴史や文化にも高い関心をお持ちです。ムスリムの規範に基づいて、また宗教の異なる海外に向けて交流の輪を広げています。

Vera 先生に活動への思いをお聞きしました。

Vera 先生より

ぐんま教育文化フォーラムの皆さま、はじめまして。

Vera Rina Dewi です。

この機会に私の思いをお伝えしたいと思



Vera 先生

います。

私は 1998 年から教師をしています。1999 年、夫と二人で西ジャワ州チビノン市に小学校を設立しました。

現在、幼稚園・小学校・中学校があります。

2013 年に、はじめて中学生を連れて日本に行きました。

2020 年のコロナ・パンデミックの際には一時中断しましたが、2023 年には再開しました。

私が生徒たちを海外に連れていきたいと考える理由はたくさんあります。

生徒たちには自国から出て幅広い見識をもってほしい。インドネシアと日本の文化の共通点や違いを学んでほしい。そして良いことも悪いことも全て人生の貴重な糧になるようにと願っています。

人々の思いは同じ。国が違ってもみな同じ人間であり、同じ感情を持ち、だれもが幸せを願っていると生徒たちには気づいてほしいのです。

ある特定の民族だけが他の民族より優れているという考えはもはやありません。

もし互いの長所や短所のすべてをやさしく受け入れることができれば、この世界は常に平和で穏やかになると確信しています。

互いの文化や習慣の違いを理解していく中で、私たちは心と魂をより広く育み、多くの人生訓を得ることができます。

神は人間を、憎みあったり軽蔑したりするためではなく、互いに愛し合い思いやるために創造されたのですから



日本での交流の一コマ